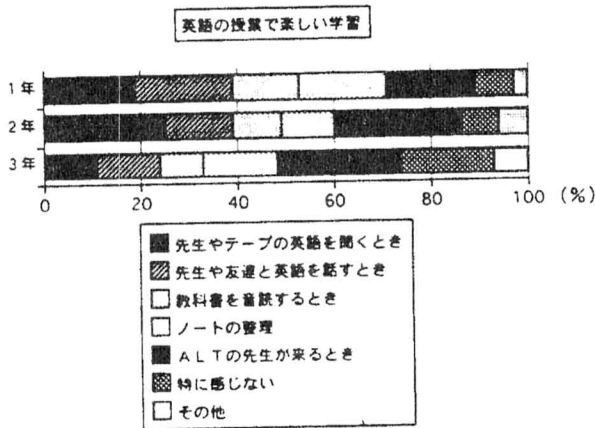


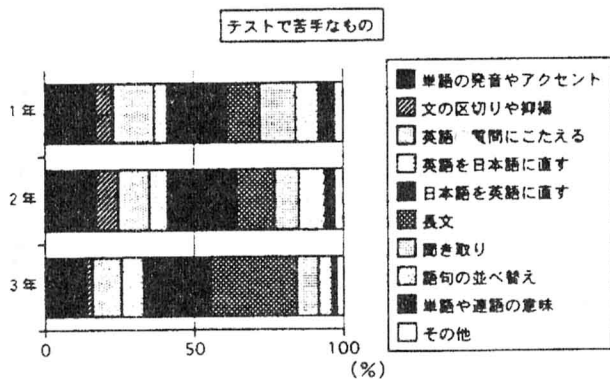
英語の授業で楽しいのは……

「英語の授業で楽しい学習」として比較的多かった答えは、「ALTの先生が来るとき」「先生やテープの英語を聴くとき（成績下位に多い）」「先生や友達と英語を話すとき（成績上位に多い）」などである。



テストで苦手なもの

「テストで苦手なもの」として、「単語の発音やアクセント」「英作文」などが挙げられている。

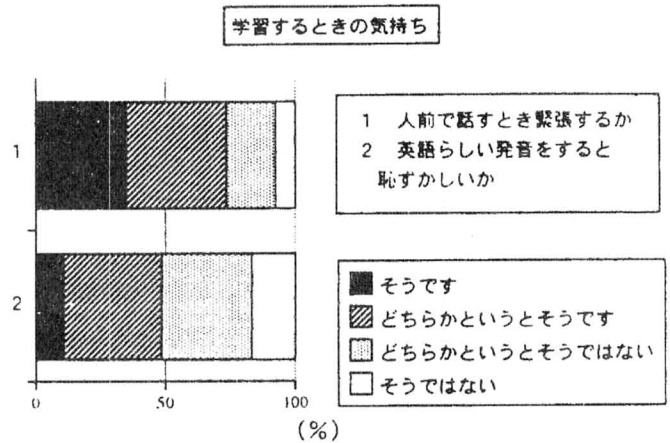


言語の構造が異なっている以上、単語の発音やアクセントに抵抗感が強く、学年に共通して英作文が苦手なもの、やむをえないことであろう。

3年生では、「長文」に対する苦手意識が強くなっている。

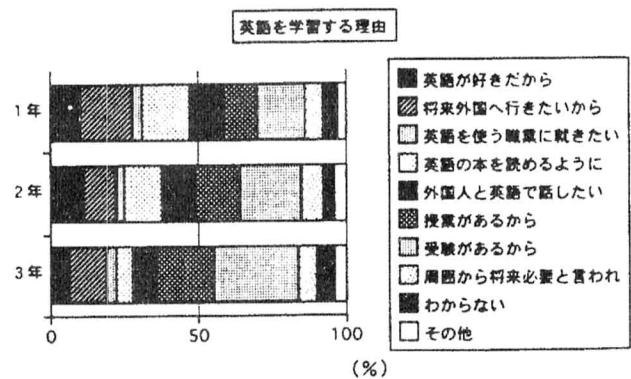
英語らしい発音は恥ずかしい

「発音」「アクセント」に対する苦手意識は、日常生活における英語の現実感の乏しさからきている。下のグラフに見るように、人前で英語を使うとき「緊張し」「恥ずかしい」と思う生徒が大半である。



英語を学ぶ理由

「英語を学習する理由」として、英語の実際的な有用性や必要性に対する自覚が高い。「将来、外国に行きたいから」という理由が学年が上がるにつれて減少し、逆に「受験があるから」が増加する。



英語に対する好き嫌いや学年を問わず、ほとんどの生徒が「英語の力をつけたい」と願っていることを付け加えたい。「楽しく、おもしろい授業」への期待感も高い。「英語が苦手で嫌い」な生徒ほど、そう願っているのではないだろうか。